

弓道なごの

第48号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社印刷

巻頭言

「道場は心も磨く処」

長野県弓道連盟会長 土川俊市



弓道を趣味と

する者にとって
弓道場施設の
充実がありが
たく、このうえ
ない喜びであり
ます。

施設の充実に住民の関心を引きよ
せ、弓道の「よさ」を理解していただ
くため初心者教室への参加を積極的
にし、教室の終講後も興味を掻き立
て、惹いては弓道人口の増加につな
がることとなります。

近年各自自治体の理解をいただき市
部をはじめ町村部まで弓道場が設置
されてきています。

その内容も「近的射場」のみならず
「遠的射場」まで併設されている弓道

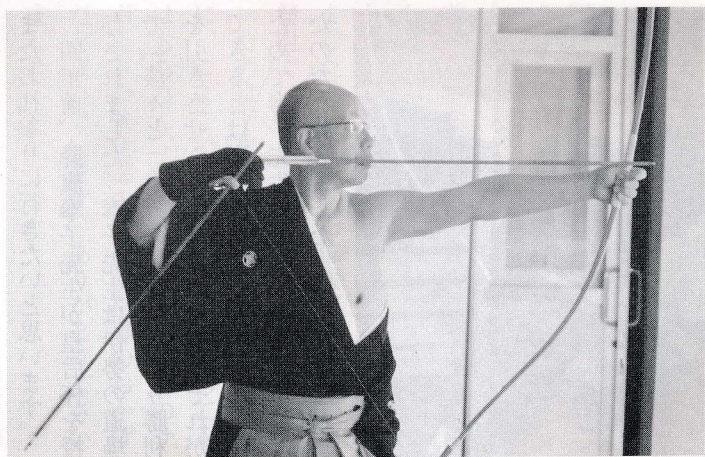
場も珍しくなくなりました。

一方、こうした公共施設としての
「弓道場」が普及する前に活動の拠点
となった「私設弓道場」は私設が故に
狭く十分な動作が控えめでも、道場
主である師匠の厳しい指導は容赦な
くとも、私設が故の温もりを感じた
日々の修練でもあります。

そうした私設弓道場も顕在し、今
ある私の基礎はそこが出発点だっ
たと思っており、聖地として特別な思
いが湧いてきます。

そうして整備された弓道場の維持
管理も大変で設置者にあるその思い
とは別に使用(活用)する者の心構え
としての「清掃等」に心を配っている
ことでしょう。

その方法も多種多様で、設置以来



伝統的にモップがけをして終わると
ころやモップがけのうえ更に雑巾が
けを続けている弓道場などいろいろ
な意味を含めた方法がとられていま
す。

その他喫煙を禁じ、みだりに声高
に談笑しないこと、履物を脱いだ時
の整え方、道場内の挨拶は坐してす
ること等、それぞれの場所によって
規律が守られているようです。

それらのことは弓道場が単なる練
習の場所としてだけでないことの
思いと意味があることを知ること、

知ってもらいたいからではないで
しょうか。

こうした公的施設に恵まれている
一方、この道場をどのようになり、
心得て使用しているのか気になっ
てまいります。

三々五々着衣をはじめ執弓の姿勢
もそこそこに射位に立ち行射する。

今のは練習だからと言う者に、練
習のための練習をしているのかと問
い質したい思いがします。

射場は自分との「戦い場」だと言
う、一歩踏み込む前に構えを整え、
一歩踏み込んでからは「隙を見せな
い」所作の連続で、退場してからも
なお五歩から六歩は維持すると言わ
れます。

日々の修練(稽古)の全てがそのよ
うでなくてはならないと言うのでは
ないと思いますが、一時だけでの気
持ちを切り替えて行射されているだ
ろうか。

弓道をはじめ日本武道は心技一如
の運動文化であり、道徳心を高め、
礼節を尊重する人間形成の道を育む
処で、道場は修練する場所であり、
心を磨く場所でもあります。

施設に感謝し、日々精進を重ね、
よき伝統を伝えていきたいと思います。

長野県勢 大活躍!!!

第46回全日本女子弓道選手権大会 二位 久保田智恵 選手
第68回国民体育大会(東京) 近的少年女子 三位 菅 溪子 選手
澤村莉香子 選手
保科 早紀 選手
第64回全日本弓道遠的選手権大会 二位 平澤 敏弘 選手

全日本女子弓道選手権に出場して

長野支部 教士六段 久保田 智恵

式年遷宮の年に、学生時代からの憧れである伊勢の弓道場で弓が引けることは本当に嬉しく、道場に足を踏み入れた時には心が震えました。

今年、山川先生から頂いた年賀状に書かれていた「右手の反りを研究すること、そうすればおのずと弓手が決まる」ことを課題として取り組んできました。なかなか思うようにできず、右手の反りとはこういうことかと、ふと腑に落ちたのは大会十日前のことでした。そして伊勢出発の前夜、山川先生に「それで引いてきなさい」と背中を押していただき、心を決めて引いてきました。

このほかに今回の大会でやろうと決めていたことがいくつかあります。

・毎日お参りにいくこと(お賽銭はたくさん。)

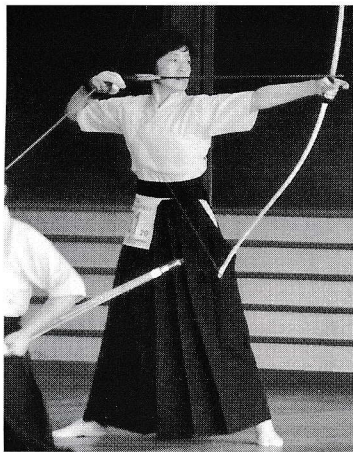
・中つても中らなくても付け矢は「手のみ。

・眉間にしわを寄せて引かない。
・足踏み・取り懸けを一発で決める。
・会での詰めを意識する。

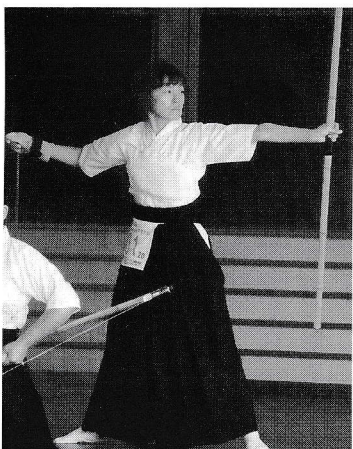
そしてなんとか予選を通過することができましたが、一本外していたら通過できなかった射だったと思います。全日本は七回目の出場ですが、決勝に進出したのは今回が初めてです。昨年の大会は予選で皆中しながら決勝に進めませんでした。最初の一手を気持ちよく引くことができ、「もしかしらたら決勝に行けるかも」と思いながら引いた次の一手は酷いものでした。その時、決勝進出を目標にしているうちは決勝など行けるはずがないと強く思ったのでした。今大会は最後の立だったこともあるのか、点数や順位のこととは全く頭にありませんでした。

しかし結局、決勝では甘えが出てしまいました。弓手を振り上げ弓返りも

せず、もう逃げ出したくなりました。課題にしていた右手の反りを忘れ、弓手が決まらなかつたのです。手汗をかいてしまい、普段使わないふで粉も使いました。一射ごと「あーでもない、こーでもない」とジタバタしていました。決勝での十射全てが全然違う射になってしまいました。それはある意味、冷静だったと言えるのかもしれない。自分の射を斜め後ろから見ている自分がいました。道場の空気や、観客席の緊張感も感じながら引いていました。勝負は時の運と言いますが、本当にその通りだと思います。後は神頼み。またお礼参りに行きたいと思っています。



だ足りないものがたくさんあると思います。だから弓を引くことが楽しいのだと思います。姿勢に憧れ、心身を鍛えようと思つて始めた弓ですが、今は毎日の生活のあれこれが弓の肥やしになればいいなと思つて引いています。多くの方のご指導、ご協力のおかげで今回の成績をおさめることができました。昨年の春、住居を伊那から長野に移した際、私の練習環境について配慮いただき、一緒に稽古をしてくださった方々に心から感謝いたします。大会までの間に何回か開かれた強化練習は、同じ目的をもつた方たちと緊張感のある稽古ができ、毎回楽しかったです。土川会長には毎回厳しく指導していただきました。そして新聞に私の名前が載るのを楽しみに応援してくれる両親に感謝します。本当にありがとうございます。今後よろしくご指導お願いいたします。



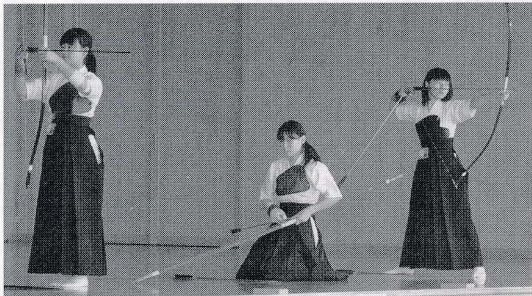
写真提供 木下美乃里さん

東京国体所感

一の立 菅 溪子

今年には自分の射に自信を持つことを目標に大会に臨みました。結果、やるべきことを全てやり切って、私自身も満足できる射ができました。緊張の余り頭の中は真っ白、思い通りの射ができずに悔し涙を流した昨年と比べれば、かなり成長できたと思います。また同じ悔しさを味わいたくないという気持ち私を強くしたのかもしれないですね。

高校弓道の最後の大会がよい形で締められて本当に良かったです。指導してくださった強化部の先生方、永藤監督、そしていつも私を助けてくれた澤村さんと保科さんに感謝の気持ち一杯です。



二の立 澤村莉香子

私が国体で一番印象に残っていることは、近頃の三位決定戦です。高校での弓道生活は、これが最後だったので、いつもとは違う特別な気持ちがありました。絶対はずせない雰囲気の中で緊張していましたが、二回目の競射で全員が中て、勝ちが決まった時は本当に嬉しくて、射場で泣きそうになりました。

このような結果が残せたのは、永藤監督をはじめ強化部の皆さんと北嶋先生のご指導、そしてたくさんの人の支えがあったおかげだと思っています。特に一緒に頑張ってきた二人には感謝しきれません。本当にありがとうございます。



三の立 保科 早紀

私が国体を通して感じたことは、仲間の大切さです。決勝トーナメントで、私は手が震える位緊張していましたが、二人がいてくれたことで、落ち着いて合宿でやってきたことを思い出し、勝手の張りや、自分のするべきことを確認しながら弓を引くことができました。そして、三位決定戦の最後の競射では全員中ることができ、皆で喜べたのはとても嬉しかったです。最後に、ここまでこれたのもチームの二人はもちろん、学校の友達や先生方のサポートや強化部の方々の指導のおかげだと思っています。ありがとうございます。

少年女子監督 永藤 聡

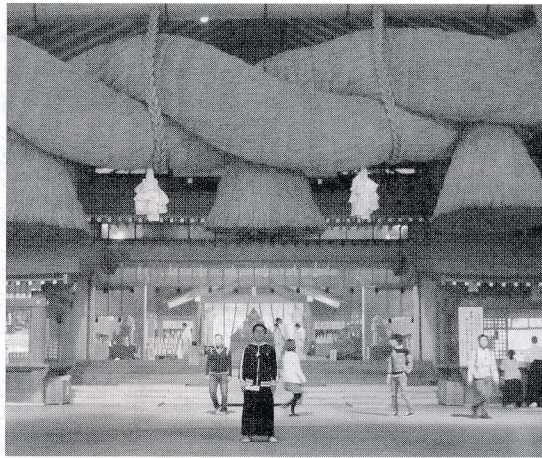
今年、数年一度の参加となっている国体の開会式、それも味の素スタジアムでの入場行進に参加出来ました。その上、宿泊はなぜか少年女子だけ「京王プラザホテル」。国体会場で、成年男女と宿舍の話はご法度になる位の待遇でした。さらに近頃の三位に入賞できましたから、選手三人の高校弓道の締めくくりとしては最高だったと思います。私も相伴に預かり、いい思い出



をさせていただきました。ただ高校生と一緒にしたので、夕食にアルコール抜きというのは残念でしたが。最後にお礼とお詫びを。この入賞結果が残せたのは(選手は、誰誰のおかげと書いておきますが)選手の才能のおかげです。それと三年間指導していただいた高校の顧問の先生のおかげです。ありがとうございます。優勝や遠的で入賞出来なかったのは、私の所為です。すみませんでした。

悔いの残る準優勝

飯伊支部 錬士六段 平澤 敏弘



十月十八日から二十日に行われました、第六十四回全日本弓道遠的選手権大会に長野県代表選手として出場し準優勝となりました。今回は、出雲大社平成の大遷宮の記念大会として島根県出雲市にて行われました。

全日本的選手権の出場は今回が三回目でしたが、思い返せば過去二回の大会は全く良い思い出がありませんでした。初めて出場した三年前は、直前の千葉国体の遠的競技にて団体優勝し

ており、「この調子で遠的選手権も優勝してやる！」と意気込んで試合に臨みましたが、気合が空回りして国体の優勝が嘘のような散々の中で予選敗退。二回目の出場でも、予選初立ちの一手(二本)が畳にも中らず予選敗退でした。

今回も準優勝はしたものの決して良い仕上りではありませんでした。前日の公開練習では、本番会場で



一手を五回引く事が出来ましたが、五回とも甲矢が前に外れ畳にすら中りませんでした。付矢の調子は最悪でしたが、過去の過ちを繰り返さないように本番でやる課題だけを決めて試合に臨みました。

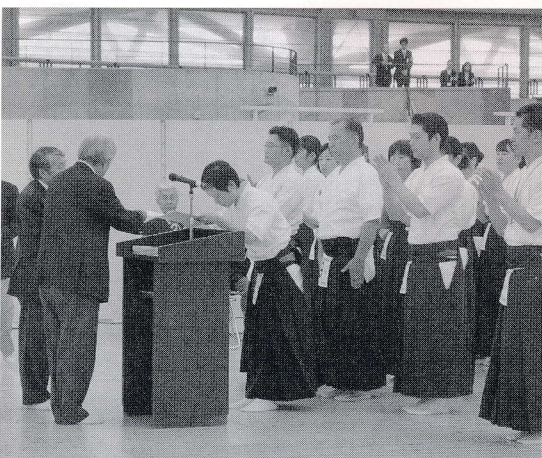
予選は一手と四ツ矢の計六射が行われましたが、初矢は前日の付矢の失敗があったので、弓手の押しを特に意識して絶対に前矢を出さないように引き

ました。矢所は的心の近くだったので一安心。その後も全部詰めて六射皆中して難なく予選通過しました。付矢で畳にすら中らず苦しんだからこそ、本番では自分の射を見つめ直し、焦らず決めた課題だけを意識して引けたことが結果的に良かったと思います。

三年越しで初めての予選通過はとても嬉しかったので、盛大に前祝を思いました。翌日には決勝戦も控えているので程々にしておきました。

決勝戦は、予選通過者二十四人が一手五回(計十射)で順位を競いました。十射しか引けないので、「一本でも外したら負ける」と思い緊張しましたが、一射一射に気合を入れて引きました。立ち順が回ってくるまでの間は自分の待ち時間があつたので、ストレッチをしたり、こっそりチョコを食べたりして緊張を解し次の立ちに臨みました。

他の選手の結果は気にしなかったのですが、控えては前の立ちで石川県の友安さんが引いているところが見えました。友安さんとは同い年で同じ錬士



六段、国体等の全国大会でも活躍しているのに密かにライバル心を燃やしていました。私が最後の立ちに入る前に、友安さんが十射皆中を決めたので、私も負けじと九本目まで詰めましたが、十本目を外してしまい優勝決定射詰へ挑戦することすら出来ませんでした。

その後、十射九中の五人で二位から五位決定遠近競射の結果、準優勝と決まりましたが、決勝の十本目を外したことが今でも心残りです。

今回の全日本的選手権は、大事な一本を詰められなかった自分の心の弱さを痛感しました。次こそは、日本一を目指して自分自身に負けないように精進したいと思います。



教士に手が届きました!

飯伊支部 教士六段 小松 哲

新年おめでとうございます。私、

旧年十一月九日東京定期中央審査で
念願の教士称号を拝受することがで
きました。紙上ですが各位に厚く御
礼申しあげます。

私の教士挑戦は還暦を期して京都・
武道センターが初陣でした。それか
ら六十歳代の十年間追っかけていま
した。

途中、退職・地域の世話役・腰痛
対策でジム通いなど決して平穩では

ありませんでした。

今(十一月下旬)、教士課題論文を
書き終え、ほっとする間もなくこの
原稿に掛かります。

受審番号が半分を超えたのは平成
二十年の京都みやこめっせの初年度
でした。以降先生方指摘のクセ、妻
手・弓手・縦線・丹田などの戦い
でこの間、喋や矢などを替え稽古し、
自分をも変える努力をしました。

九回目の二十一年秋、初めて一次

通過! しかし二次

で失態。以降は仲間

を作りビデオを持つ

て主に体配の相互練

習に励みました。

その後、名古屋に

も中央審査ができた

したので下記の行動

を年三〜四回繰返し

続けました。ほとん

ど通年です。きつと

いつかはという思い

だけでした。

その間にマイカー

の買替期となりこれが最後の車と考
え登録番号を910(キユウトウ↓
弓道)にしました。

①三か月前:受審申込・ホテル予約。

②二か月前:矢の矯め点検で矢師に
送る。

③一か月前:一手二回のみの稽古に
切替え。

④十日前:眼鏡手入と節酒。

⑤五日前:理髪と支度チェック・晩
酌絶ち(体内から悪性アセトアルデヒ
ドの完全排出)そして審査日前日に
移動、入念な下見実施です。

そんなこんなで迎えた古希、昨秋
の東京が二十回目の正直でした。

その日は自分でも不思議なくらい平
常心と集中力が保てました。

当日の二次審査は三人一つの二
立ち目、なんと私と仏人ミスター・
エリック(飯山道場)、三番が県・
佐久支部の植松先生という長野県ト
リオの組合せ、通訳の入った位取り
もスムーズにでき、東中成りました。

諦めない!これが合格への第一
歩かと思えました。

こんな遅咲きの男を長年親切・丁
寧に御指導下さいました先生方に
唯々感謝あるのみです。そして、後
押しして下さいました支部弓士各位
と家族に衷心から御礼申し上げます。

明けましておめでとうございます

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロツヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)

12人立2ヶ所

遠的道場 1ヶ所

平成二十五年度祝射会(於:塩尻市弓道場)

十一月十七日(日)、祝射会が開催されました。

塩尻に向かう途中、随所で濃霧に
あい恐る恐るの運転で出席された方も
多いと思われます。一転塩尻は、

快晴! 温かい日和の中で、被表彰者二十八名、参加者七十六名で開催されました。

予定通り九時半開始。土川会長より、「がんばれニッポン!のもとに国



民が一丸となり復興に向けて頑張っている中、自然災害が多かった一年でもありました。その中で弓道の自己研鑽に励んだ其々会員の成果、ご協力のもと本日、終演の幕を降ろすことができました。」との辞。それに続いて、本年度の長野県の実績について詳細な紹介がありました。

まず新年早々、日本武道館にて日本武道協議会より宮澤先生が武道功労賞を受賞されました。

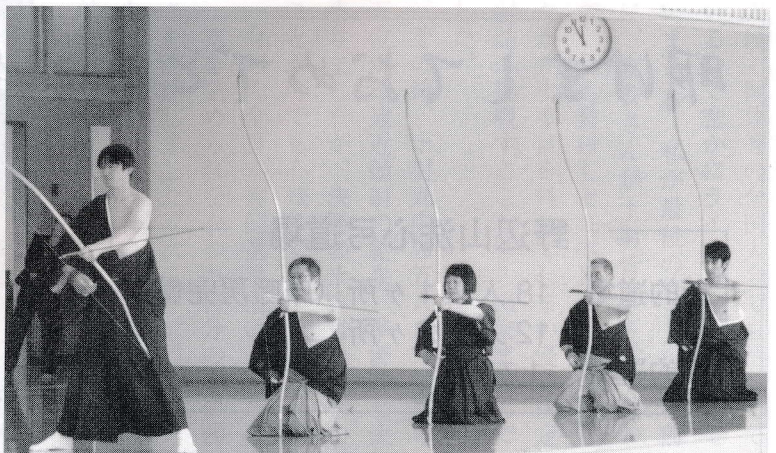
昨年より採り入れられた年間優秀支部の表彰は、二位の諏訪支部、上伊那支部に大差



をつけて、二年連続飯伊支部が受賞しました。

大会に於いては、東京で開催された第六十八回国民体育大会で成年男子が近位的五位、少年女子が近位的三位の快挙。男女総合十一位、女子総合九位を獲得。

五月京都にて、第六十四回全日本弓道大会錬士の部で五四六名の参加者の中、平澤敏弘選手が優勝。



秋、伊勢で実施された第四十六回全日本女子弓道選手権大会で久保田智恵選手が、出雲で実施された第六十四回全日本弓道遠的選手権大会で平澤敏弘選手が、両者共に第二位に輝きました。

北九州市で実施された第五十八回全国高等学校総合体育大会で個人女子の部澤村莉香子選手が、第三位。第十回全国中学生弓道大会で団体



女子の部が三位(長野日大中チーム)。

第六十回全日本勤労者選手権大会で団体第五位(中電長野チーム)。

数々の入賞で日本弓道の歴史に長野県の名を高めた次第です。

又、十一月十日に上越で実施された第四十三回北信越地区弓道選手権大会で男子、女子有段者の部で共に二位。称号受有者の部で一位。昨年に引き続き十八回目の総合優勝に輝く快挙でした。

昇段、昇格者については、教士に小松哲先生一名、錬士に五名の合格者、十二月二十二日の特別審査受審資格者に教士の部六名、錬士の部四名の成果が期待されます。

「これらの成果は、本人の努力はもとより、多くの諸先輩方の献身的な働きが大きい事を忘れてはならない」と言う会長のお言葉がありました。

永年、長野県弓道連盟に貢献された先生方の退任につきましては、十一年間常任理事、理事の小池梨枝子先生、七年間常任理事、支部長の丸山泰利先生、二十年間評議員、支部長の土屋義雄先生、七年間評議員、支部長の小坂末治郎先生に感謝状が手渡されました。

表彰式の後、被表彰者の代表として宮澤廣先生からお礼のご挨拶、その後、土川会長による矢渡、参加者による一手坐射の祝射、受賞者による答礼射が厳粛な空気の中で行われました。さすがに、答礼射は圧巻でした。

予定より三十分近く早い終了。中信会館に移動して、盛大に祝宴会を開催(招待者二十二名、一般七十二

名)。土川会長のご挨拶の中に、「現在長野県は、地連第二位の位置にある」とのお話で会場に大きなよめきが起こりました。受賞者代表挨拶に久保田先生、乾杯の音頭を山川先生にお願ひし、和やかな祝宴会が始まりました。十五時過ぎ、受賞者への万歳三唱、県連への返礼を受け、今後の長野県弓道連盟の発展を胸に誓い、明るい表情のもと閉会となりました。

(広報 加藤明美)



謹賀新年

限りない弓道心に
真心で御手伝い



全日本弓道具協会会員



有限会社

中島弓具店

〒380-0935

長野市中御所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855

地連会長会議報告

長野県弓道連盟会長 土川 俊市

平成二十五年十一月一日全弓連地連会長会議が招集され出席いたしました。

会議の内容は報告事項が主体でしたので、その要旨をお伝えいたします。

全弓連が公益財団法人に移行して二年が経過いたしますが、発足当時決定した改革大綱の進捗状況についての説明は、先ず組織改革の推進に沿って「理事会」「部会」を設置し、テーマごとに各部会の活動が進められています。

理事会では会長・専務理事・各担当部会理事等も決定し、理事の兼任の解消・定年制の導入、部会では審査規程・競技規則の改定作業等が進められています。

財政の改善と確立等々の作業が進められているとの報告がなされました。

◆各種報告事項

「平成二十六年度行事計画(案)の説明」

「国体・弓道競技会について」

第七〇回和歌山国体から専任監督の

設置による出場枠の変更、少年種別に中学生の出場を認める等、変更が

予定されており、現在は案を持ち

寄って日体協と協議中であります。

「日体協スポーツ指導員資格の

義務研修実施について」

弓道連盟が独自に実施すべく折衝中であります。伝達講習会のなかで全国統一した考え方で実施できるようにしたい。

「弓道競技規則の改定について」

新年度から実施の方向で改訂作業が進行中であります。

「全弓連・相談窓口の設置について」

事務局に相談窓口を設置し、ホームページに専用アカウントを掲載、専従者を設ける。別に提示された「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を活用されたい。

「特別賛助会員の加入促進について」

加入促進してほしい、称号授有者は加入が望ましい。

「分担金の増額について」

①均等割額(五万円)

②実績割額

(前々年度の段位登録料に実績率五パーセントを乗じた額)

③地連登録会員数に基づく額

(前年度末現在の一般会員数×一〇〇〇円)

前記合計額を次年度の分担金として当該年度の六月までに納入する。

・分担金の増額の必要性

①緊縮財政で行事を実施してきたため、歪みが限界に近づいているため。

②改革大綱にもある通り、財政健全化の一貫として安定的な収入を確保するため。

③公益目的事業会計と公益法人の均衡を可能にするため。

④慣例的な行事消化のみで、公益法人としての事業をやれていない実情を改善するため。

⑤今後、将来性を考えた公益法人としての事業を実行するため。

⑥地連会員が全弓連を支えていることを自覚し、協力をしてもらいたいため。

・増額分の使用目的

①健全財政を確保する。(慢性的な赤字体制からの脱却)

②目減りした正味財産の回復を図る。

③広報など普及振興を目指す公益財団としての新規事業に使用する。

④若年層、ジュニアをはじめとする、底辺拡大を目指す。

⑤学卒者(高校・大学)の一般定着、スムーズ移行を図るための方策を実行する。

⑥連盟運営を活性化させ、懸念の解決と新規の議題に取り組む。

⑦国際化振興策、その他突発的な記念行事に対応するための準備金として備える。

以上の理由から地連分担金増額が必要のため新年度から実施したい旨の説明がありました。

分担金の増額については、平成二十五年途中からの実施を全弓連定例評議員会に提案がされましたが、年度途中からの実施は否決されたため、本件は新年度の定例評議員会に提案され、議決されれば実施となります。

「各種表彰について・優秀地連表彰(経過)について」等の報告がありました。以上のとおりであります。今後、当

県連の常任理事会・理事会・評議員会等の審議を経て結論づけてまいりますので、何分のご協力をお願いします。

大会結果

第55回 塩尻市武道大会 弓道競技の部

○平成25年9月15日(日)
参加数：中学生8名、高校生149名
一般48名 計205名

▲個人の部

- 1位 藤澤 園子(美須々女子B)
- 2位 川上 真由(美須々女子A)
- 3位 林 瑞希(松商学園C)
- 4位 飯干 貴史(田川男子A)
- 5位 中村 海斗(志学館A)

▲団体の部

- 1位 安曇野JSC C(古澤成真、荒井虹太、百瀬拓実)
- 2位 安曇野JSC A(浅井香那、山田美咲)
- 3位 安曇野JSC B(眞島由衣、内川あずみ)
- ▲団体の部 高校の部
- 1位 美須々男子A(山田和輝、金井俊也、百瀬成哲)
- 2位 田川男子A(風間勇人、塩原正悟、飯干貴史)
- 3位 青峰A(藤森杏莉、原日向子、上原恵実)
- ▲団体の部 一般の部
- 1位 駒ヶ根A(竹村茂明、島本昌晃、水田明美)
- 2位 小諸懐古(武田里代子、新崎陸美、栗林正直)
- 3位 木曾義仲A(黒石実男、青木喬雄、林義泰)

第63回 県下弓道岡谷大会

○平成25年9月22日(日)

岡谷市総合体育館弓道場
参加数：118名、一般28名、合計146名

▲高校 個人の部(8射)

- 1位 竹村 奈菜(岡谷南女子B)
- 2位 渡辺 菜月(岡谷南女子B)
- 3位 市川 実季(上田女子A)
- 4位 奈良本龍也(上田男子A)
- 5位 牛山菜々美(岡谷南女子D)

▲一般 個人の部(8射)

- 1位 平林 敦樹(チームまるこめ)
- 2位 原 深雪(上諏訪A)
- 3位 宮原 勝広(塩尻)
- 4位 山田 光輝(岡谷A)
- 5位 岩原 祐貴(無中)
- ▲高校 団体の部(24射)
- 1位 びゅびゅび(岡谷南)北田航生、古谷慎吾、富濱紘夢
- 2位 岡谷南女子B(手塚楓、竹村奈菜、渡辺菜月)
- 3位 下諏訪向陽A(伊藤光里、山崎あゆか、山崎祐美)
- ▲一般 団体の部(24射)
- 1位 無中(柴翔太、宮坂光哉、岩原祐貴)
- 2位 上諏訪B(飯野勇希、木村綾美、原深雪)
- 3位 岡谷B(降旗泰子、三浦諒平、降旗昭雄)

皇后盃 第46回 全日本女子弓道選手権大会

○平成25年9月20日(金)～22日(日)

- 神宮弓道場(神宮会館内)
- ▲女子決勝
- 2位 久保田智恵(長野支部) 優秀賞

2013信州ねりんピックスポーツ交流大会

○平成25年9月28日(土) 茅野市運動公園弓道場

- 1位 笠井 信夫(長野)
- 2位 吉野 恒夫(大北)
- 3位 湯澤 幸司(上伊那)

スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)

○平成25年9月29日(日)～10月2日(水)

- (近の会場)東京都立小金井公園弓道場
- (遠の会場)東京都立小金井公園特設遠的弓道場
- ▲男女総合成績(天皇杯得点)
- 11位 40点
- ▲女子総合成績(皇后杯)
- 9位 28点
- ▲種目・種別成績
- 3位 近的少年女子
- 5位 近の成年男子

私と弓道

安曇支部 錬十五段 牛越 和枝

私が弓道を始めたのは高校に入った時からです。卒業と同時に一旦は離れてしまいましたが、社会人となり、仕事も落ち着いた頃、もう一度弓を引きたいと思い立ち、弓道教室から再開しました。



なりましたし、そこから多くの事を学ぶ事ができたと思っています。弓はいつも同じように引いているつもりでも、調子の良い時、悪い時が必ずあるように思います。以前、どうにも行き詰まってしまっていた時、ある先生からこう教えて頂きました。

調子の悪い時でも一生懸命努力し、練習する事。この練習を続けていけば、やがて良くなり、そしてまた悪い時もやってくる。でもそれは以前の悪い時と同じでなく、上の段階にいたのだと。ちょうど螺旋階段を上るように、常に上に歩いて

いると信じて続けなさいと。うまくいかない事に、すぐに諦め

そうして続けてきた私も、昨年は国体参加という機会に恵まれる事ができました。残念ながら国体での結果は良いものではありませんでしたが、そこに至るまでの強化練習や、北信越国体などは私にとって、とても良い経験に

うまくいかない事に、すぐに諦めてしまわずに、続けていけばいつか結果がついてくると信じて。そして、こうして迷った時、助言してくださる多くの方々に感謝しつつ、これからも弓道を続けていきたいと思っています。

長野県高等学校新入体育大会弓道競技会

○平成25年10月12日(土)～13日(日)

塩尻市弓道場

参加数・高校591名

個人(の部) 女子(12射)

1位 上原 恵実(木曾青峰)

2位 下枝菜里奈(松本美須ヶヶ丘)

3位 米山 奈帆(飯田)

4位 草深明日香(松本美須ヶヶ丘)

4位 古澤 紗樹(豊科)

個人(の部) 男子(12射)

1位 小野 隆哉(松商学園)

2位 岩本 圭太(大町)

3位 西山 辰佑(大町北)

4位 千野 翔(長野日大)

5位 下鳥 新(伊那弥生ヶヶ丘)

団体の部 女子

1位 松本美須ヶヶ丘C(下枝菜里奈、西澤加奈、草深明日香、藤澤園子)

2位 松本美須ヶヶ丘B(青柳美結、須賀友里加、川上真由、古畑春花)

3位 穂高商業(住田永華、堀内遥香、吉池楓、藤原里歩)

団体の部 男子

1位 長野日大高校C(高木友輔、青木俊太郎、千野翔、中尾充博)

2位 須坂高校B(田中敬也、池田貴弘、山本航平、保科良介)

3位 伊那弥生ヶヶ丘A(下鳥新、新岡大輔、塚原優太、平林嶺)

個人(の部) 男子(8射)

1位 荒井 孝芳(善光寺A)

2位 竹内 博(善光寺A)

3位 下坂 哲也(善光寺A)

4位 宮島さおり(竟成会)

5位 山本 明子(文化学園)

個人(の部) 女子(8射)

1位 荒井 孝芳(善光寺A)

2位 竹内 博(善光寺A)

3位 下坂 哲也(善光寺A)

4位 宮島さおり(竟成会)

5位 山本 明子(文化学園)

個人(の部) 男子(24射)

1位 長野高専E(宮島直人、荻久保雄雅、浅石拓真)

2位 長野商業高校C(黒柳公太、堀直人、海谷健一)

3位 長野東高校C(塩原優吾、横田惇弥、中川航平)

個人(の部) 女子(24射)

1位 長野吉田高校C(高橋もも、瀧澤祐希、竹田桃子)

2位 長野東高校B(庄田ちひろ、駒村彩香、塩入美里)

3位 長野商業高校C(砂田佳穂、小林紗彩、里野清香)

個人(の部) 男子(24射)

1位 善光寺A(竹内博、小池君男、下坂哲也)

2位 竟成会(宮島さおり、伊藤梓、佐藤正之)

3位 長野運動公園F(藤沢敏恵、中沢寿賀子、小池房子)

個人(の部) 女子(24射)

1位 善光寺A(竹内博、小池君男、下坂哲也)

2位 竟成会(宮島さおり、伊藤梓、佐藤正之)

3位 長野運動公園F(藤沢敏恵、中沢寿賀子、小池房子)

個人(の部) 男子(8射)

1位 五十嵐ももな(長野日大中学)

2位 堀内 大輝(長野日大中学)

3位 山崎 愛海(長野日大中学)

4位 山崎 太智(長野日大中学)

5位 山岸龍之介(長野日大中学)

個人(の部) 女子(8射)

1位 堀 直人(長野商業高校C)

2位 堀 直人(長野商業高校C)

3位 堀 直人(長野商業高校C)

4位 堀 直人(長野商業高校C)

5位 堀 直人(長野商業高校C)

個人(の部) 男子(8射)

1位 堀 直人(長野商業高校C)

2位 堀 直人(長野商業高校C)

3位 堀 直人(長野商業高校C)

4位 堀 直人(長野商業高校C)

5位 堀 直人(長野商業高校C)

弓仲間紹介

佐久弓道会の仲間達

佐久支部 五段 中沢 たみ江

佐久弓道会は、大正、昭和、平成生まれの三世代が集う弓道会です。道場は、駒場公園内の一番奥にあり、近代的、遠的場を備えております。この小さな地に遠的場まであるのは、先輩方が何度も県庁に足を運び、ご尽力いただいた御蔭です。先輩方は、傘寿、卒寿を過ぎた今でも後輩達の指導、会の運営に励まれ、その凛としたお姿は、中高年会員の目標となっております。

近年は家族で入会される方も数組あり、大変嬉しく思います。親子で時間を合わせ、弓道について語りながら歩く道場までの道、理論的に弓道を探求する父と、筋肉が柔らかく、こまでも素直な子、丁寧な体配の母、指導する先生のお力で、皆々キメキと上達しております。

さらに、彼らを支える中級者の皆さんの上達は、心技共に目を見張るものがあります。講習会、大会等、互いに誘い合い、声を掛けあつて参加し、そこで学んだ事を後日研究し合いながら真つ直ぐに向上しています。

指導部の先生方、会長、副会長を中心に、教室が終わった後も引き続き指導日を入れて頂き、先生方が長年探求され、修練を重ねて得た経験や知識を、自分の稽古時間も差し出して、我々会員の弓道上のために尽くして下さい。

「百×零はいくつだ」先生の言葉が胸に刺さります。それでも私は、弓道に出会って多くの学びを頂きました。

先生、先輩、仲間、管理事務所の方、他の支部の先生や皆様方、いつでも優しく手を差し伸べて下さり、意見を下さいます。亀よりのろい私を、諦めず、見捨てず導いてくださる皆様様に、心から感謝しております。この触れ合いがあったからこそ、悩み多き修練の日々もまた充実し、趣深いものとなったのです。今はこのご恩に何一つお返しできておりませんが、弓道を始めた方達が、弓道に出会って充実した人生になったと感じてくれるよう、少しでもそのお手伝いが出来れば幸いです。

今年も支部長の「皆緒に越冬するぞ」の声が掛かりました。佐久はまた厳しい冬の到来です。凍みるこの道場で、この面々が一人として欠けることなく、精一杯の稽古を共に重ねていきたいと思います。

こんな佐久弓道会の弓仲間です。皆様、是非佐久にお越し下さいまして、一緒に稽古して下さい。



佐久弓道会での練習風景

- ▲高校の部 男子団体(48射)
1位 飯山北A 鈴木裕一郎、小澤央、山崎勇輝
- ▲高校の部 女子団体(48射)
1位 飯山北A 小林まなみ、横田有香、清水千嘉

▲高校の部 男子個人(16射)

- 1位 本山 大夢(長野工業)
- 2位 鈴木裕一郎(飯山北A)
- 3位 涌井 颯太(飯山北C)
- ▲高校の部 女子個人(16射)
1位 小林まなみ(飯山北A)
- 2位 高橋 琴乃(飯山北C)
- 3位 大庭 桜子(飯山)

▲一般の部 男子個人(16射)

- 1位 江田 浩二(飯山)
- 2位 岡田 宏之(飯山)
- 3位 大口 晴男(飯山)
- ▲一般の部 女子個人(16射)
1位 富井 法子(飯山)
- 2位 本山かえで(飯山)
- 3位 佐々木民子(飯山)

第62回 上田市総合体育大会弓道競技

○平成25年10月14日(月)
上田市営城址公園弓道場
参加数：105名(高校男子38名、高校女子52名、一般15名)

▲高校の部 男子個人

- 1位 今井 博之(上田千曲高校)
- 2位 中曾根聖也(上田東高校)
- 3位 松坂 仁樹(上田染谷高校)
- ▲高校の部 女子個人
1位 白倉 由貴(丸子修学館高校)
- 2位 石原 瞳(上田東高校)
- 3位 藤田 櫻子(上田東高校)

▲一般の部 有段者の部

- 1位 村松 和彦
- 2位 柳沢 忠憲
- 3位 手塚 信幸
- ▲一般の部 称号者の部
1位 宮崎 完
- 2位 安藤 教光
- 3位 今井 康人

- ▲一般の部 女子の部
1位 春原由美子
- 2位 松田巳夏子
- 3位 甲田 令子
- ▲総合優勝
村松 和彦

第64回 全日本弓道遠的選手権大会

○平成25年10月18日(金)～20日(日)
出雲下ノ門特設射場
▲男子の部
2位 平澤 敏弘(飯伊支部)

池田町弓道場開設50周年記念県下弓道大会

○高校 10月19日、一般 10月20日
参加数：高校140名、一般36名
競技種目：近的

▲高校個人(8射)

- 1位 松本 佳奈(上田千曲E)
- 2位 小野 直人(美須々男子B)
- 3位 今井 博之(上田千曲C)
- 4位 百瀬 成哲(美須々男子B)
- 5位 古畑 春花(美須々女子D)
- ▲高校団体の部(12射)
1位 上田千曲C(今井博之、井出佑馬、大宮一輝)
- 2位 美須々女子C(青柳実結、須賀友里加、川上真由)
- 3位 須々々男子B(小野直人、川窪秀郎、百瀬成哲)

▲一般個人の部(12射)

- 1位 田中 公博(おまびよん)
- 2位 栗林 正直(懐古)
- 3位 松井 幸彦(安曇A)
- 4位 宮崎 史子(信大医)
- 5位 中嶋 大地(信大医)
- レレイス賞(一般のみ)
1位 張谷 捺来(大町蓮華)
- 2位 窪田 和恵(アズミ・スワ)
- 3位 中牧 京子(池田B)
- 4位 斉藤 達子(池田B)
- 5位 荒井 萌子(信大医)

- ▲一般団体の部(36射)
1位 おおまびよん(井出遼太郎、丸山貴大、田中公博)
- 2位 安曇A(渡辺晃、柴野恭弘、松井幸彦)
- 3位 駒ヶ根(井口正弘、島本昌晃、竹村茂明)

第11回 千曲市長杯弓道大会・一般の部

○平成25年10月20日(日) 千曲市弓道場
参加数：一般(大学生は除く)30名
競技種目：近的競技個人戦(男子・女子混合)

- 1位 古澤 金蔵(長野)
- 2位 牧野ふみ江(佐久)
- 3位 武川 妙子(松本)
- 4位 小池 君男(善光寺)
- 5位 川上 誠(松本)

ねんりんピックよさこい高知2013

○平成25年10月26日(土)～29日(火)
高知県立弓道場
参加数：71チーム、466名

- ▲団体予選
優秀賞 予選40射20中、同中競射5射4中
- ▲交歓試合
敢闘賞 荒井 清 4射2中

第63回 県下南信弓道大会

○平成25年10月27日(日)
飯田運動公園県営飯田弓道場
参加数：237名

- ▲個人高校 一年生の部
1位 金子 夏暉(東海大三F)
- 2位 米山あす香(飯田女子A)
- 3位 鈴木由里菜(風越A)
- 4位 遠藤 聖哉(松川C)
- 5位 山崎 彰平(東海大三F)
- ▲個人高校 二、三年生の部
1位 代田 瑞紀(飯田女子B)
- 2位 荒井ひとみ(岡工A)
- 3位 北原 葵(飯田女子A)

- 4位 大越 森平(飯田A)
- 5位 林 凜(松川E)
- ▲個人一般 参段以下の部
1位 福沢 隆夫(松川A)
- 2位 木下 拓馬(喬木)
- 3位 柴 翔太(無中)
- 4位 伊藤 千昭(スリーナイン)
- 5位 岩瀬弥与美(高森B)

▲個人一般 四段以上の部

- 1位 平澤 敏弘(矢真飛)
- 2位 中村 健二(矢真飛)
- 3位 山田 静香(高森A)
- 4位 坪井 優(矢真飛)
- 5位 常盤 三男(松尾B)

▲総合優勝 平澤 敏弘

- ▲団体の部
1位 矢真飛(中村健二、坪井優、平澤敏弘)
- 2位 岡谷工業高校A(北田航生、宮島啓太、荒井ひとみ)
- 3位 無中(岩原祐貴、平林敦樹、柴翔太)

第11回 千曲市長杯弓道大会・高校の部

○平成25年11月3日(日) 千曲市弓道場
参加資格：高校・男女
競技種目：近的競技団体戦

▲男子の部

- 1位 長野日大B(高木友輔、青木俊太郎、千野翔、金子功記、永江一登)
- 2位 塩尻志学館(中村海斗、吉江雅平、酒井翔平、中山大、下鳥佑太)
- 3位 須坂A(中村優佑、高野航平、阿部佑哉、小林竜哉、瀧沢友貴)
- ▲女子の部
1位 長野日大B(小池優佳、中村聖奈、塩崎葵、瀧澤里帆、米持奈々)
- 2位 屋代B(宮島百香、西村友梨香、嶋崎由奈、草野桃子、竹澤佳菜)
- 3位 塩尻志学館(黒田あゆみ、梅原美奈、鰐川日南子、三澤瑞希、鈴木秋桜香)

第48回 県下弓道飯島大会

○平成25年11月3日(日) 飯島町弓道場
参加数: 高校95名、一般59名、合計154名

- ▲学生の部(8射)
1位 小出 円香(辰野C)
2位 塚原 優太(弥生I)
3位 新岡 大輔(弥生H)
4位 小池 佑果(伊那西E)
5位 蟹澤 功樹(駒工A)
▲一般の部(8射)
1位 山口 澄男(駒ヶ根E)
2位 小松 徹朗(混成A)
3位 中村 健二(混成E)
4位 山田 光輝(岡谷)
5位 柴 種徳(伊駒弓魂)
▲団体の部
1位 弥生H(下島新、新岡大輔、平林嶺)
2位 弥生I(小林大樹、柿野凌、塚原優太)
3位 混成C(手塚信一郎、高地美佐子、都築勝)

○平成25年11月3日(日・祝) 松本市弓道場
参加数: 一般86名、高校生181名、合計267名

- ▲近の・個人 高校男子の部(8射)
1位 小野 隆哉(松商男子A)
2位 古谷 紳吾(岡谷南A)
3位 日下部 玲(志学館A)
4位 花村 光(松本深志高校男子源)
5位 吉田 和也(松本嶺ヶ崎男子B)
▲近の・個人 高校女子の部(8射)
1位 吉池 楓(穂高商業C)
2位 丸山 葵(大町北高校女子B)
3位 波多腰千夏(県陵女子C)
4位 堀川 友美(松商女子A)
5位 杉田 巴夏(松商女子C)
▲近の・個人 一般の部(8射)
1位 伊藤 寛朗(信大G)
2位 有賀 俊裕(佐久)
3位 白田 岳大(信大A)
4位 大堀 貴洋(信大B)
5位 中島 大地(信大医A)

第43回 北信越弓道選手権大会

○平成25年11月10日(日)
新潟県上越市高田公園弓道場
▲総合優勝 長野県 団体戦

- ▲男子有段者の部
2位 安藤直貴、市川隆光、小澤剛志
▲女子有段者の部
2位 井原寿恵、戸田裕子、山田静香
▲称号受有者の部
1位 亀岡英司、牧野ふみ江、平澤敏弘
個人戦
▲男子有段者の部
3位 市川 隆光
2位 女子有段者の部
3位 山田 静香
3位 井原 寿恵
▲称号受有者の部
1位 平澤 敏弘
2位 亀岡 英司

第3回 北信越高等学校弓道新人大会

○平成25年11月23日(土)
福井県立武道館弓道場
参加数: 高校約210人

- ▲男子個人の部
2位 小野 隆哉(松商学園)
3位 千野 翔(長野日大)
▲男子団体の部
1位 長野日大(高木友輔、青木俊太郎、千野翔、永江一登)

第69回 国民体育大会 弓道競技 長野県成年男女 一次選考会

○平成25年11月24日(日) 塩尻市弓道場
参加数: 男子26名、女子13名

- ▲成年男子
平澤 敏弘(飯伊支部) 岩原 祐貴(諏訪支部)
牧内 和宏(飯伊支部) 小山 義弘(佐久支部)
宮原 勝広(木曾支部) 酒井 紳一(上伊那支部)
松井 勇樹(塩尻支部) 清水 伸浩(諏訪支部)
市川 隆光(諏訪支部) 安藤 直貴(須高支部)
▲成年女子
宮澤久美子(長野支部) 原 深雪(諏訪支部)
井原 寿恵(飯伊支部) 山田 静香(上伊那支部)
藤沢 敏恵(長野支部) 木村 綾美(諏訪支部)
牧野ふみ江(佐久支部) 戸田 裕子(上小支部)

昇段昇格者

- ◆「東海地区」錬士臨時中央審査
▽錬士の部(11月17日)
手塚信一郎(上伊那支部)
◆「東京」定期中央審査
▽六段の部(11月8日)
足助 敦(諏訪支部)
▽教士の部(11月9日)
小松 哲(飯伊支部)

お悔やみ申し上げます(敬称略)
教士六段飯伊支部 松村泰夫(90歳)
平成25年12月8日(日)逝去

クニシユ

射法・射技の基本の中に「弓の力は反動力であって、直動力ではない」とある。

太陽の恵みが動植物を育て、それらを食物として摂取し我々は生きています。その食物の持つエネルギーが身体を動かす、弓は引分けられる。会の状態で弓の保持するエネルギーは最大となり、離れの瞬間、それは矢の運動エネルギーに変化して、矢は安土まで飛んで行く。

見方を変えると、人の持つエネルギーを効率良く矢に載せるため、一旦弓の保持するエネルギーに変換しているということであり、いかに弓の操作にまつわるロスを決減させるかが、矢飛びの良否を決めるとも言える。なるほど反動力だからこそ研修の対象となるのだろう。

飛んで行った矢は安土に刺さり、的中音や、的紙や安土の熱に変化して一射が終了する。矢のエネルギーが、観覧している方々の心を動かすエネルギーに少しでも変化してくれるといいのになあと願うが、そうなるにはまだまだ修練が足りない。(上伊那支部 手塚 信一郎)